

同音・同訓の漢字

名前

組 番

月 日

正答数

4

ねらい

●同音・同訓の漢字を使い分ける。

要点チェック

●同音異字……同じ音をもつ別の漢字。

例

「合」と「号」(どちらも「ゴウ」という音読みをもつ同音異字)
 「関」と「感」(どちらも「カン」という音読みをもつ同音異字)
 「問」と「門」(どちらも「モン」という音読みをもつ同音異字)

●同訓異字……同じ訓をもつ別の漢字。

例

「合う」と「会う」(どちらも「あ(う)」という訓読みをもつ同訓異字)
 「治る」と「直る」(どちらも「なお(る)」という訓読みをもつ同訓異字)
 「帰る」と「返る」(どちらも「かえ(る)」という訓読みをもつ同訓異字)

例題

次の()の中の漢字のうち、正しいほうを○で囲みましょう。

- 1 絵に(感・関)心がありますか。
- 2 弟のかいた絵に(感・関)心しました。

◇考え方◇

どちらも「カン」という音読みです。「感心」は「心に深く感じること」、「関心」は「興味をもつこと」です。

答え 1 関 2 感

問題

次の文の——線を漢字にするとき、正しいものをあとから一つずつ選びましょう。

- (1) ブローチをむねにとめる。
1 止 2 留
- (2) 病気が早くなおることをいのっています。
1 治 2 直
- (3) 家にかえったら宿題をしなさい。
1 帰 2 返
- (4) 夏休みに入って、早起きの習かんががついた。
1 間 2 刊 3 慣 4 管

() () () ()

(4) (3) (2) (1)
3 1 1 2

- (1) 「止める」は動きをとめる、「留める」は物などを固定するという意味です。
- (2) 病気がなおる、というときは「治」を使います。
- (3) 自分の家などにかえるときには「帰」を使います。
- (4) 同じことをくり返して、親しみなれるときには「慣」を使います。